

2019年6月28日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、雇用情勢が堅調に推移しているものの、観光関連の一部で弱含んでいるほか、生産活動や消費関連、投資関連がやや弱含むなど、全体として弱まりつつある。

生産活動は、3月の鉱工業生産指数が4か月連続で前年を下回った。電子部品関連は全体的に一服感が見られ、減速の兆しが見られる。食品関連では、畜産はやや弱含んでいる。個人消費関連はやや弱含んでいる。投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を下回った。主要ホテル・旅館宿泊客数は、鹿児島・霧島・指宿の3地区合計で2か月ぶりに前年を下回った。主要観光施設入場者数は前年の大河ドラマの反動減が一部の施設で見られた。

【生産活動】… やや弱含む

電子部品関連は、全体的に一服感が見られ、減速の兆しが見られる。

4月の**焼酎**生産は2か月連続で前年を上回り、出荷量はほぼ前年並みだった。

3月の**かつお節**生産は、5か月連続で前年を下回った。

5月の**生コン**生産（出荷量）は、公共工事向けは前年を下回ったものの、民間工事向けは前年を上回り、全体で4.1%増と2か月連続で前年を上回った。

5月の**紙パルプ**生産は、4か月ぶりに前年を下回った。

木材関係は、製品相場がスギは前年並み、ヒノキは前年を上回った。

【畜産関連】… やや弱含む

4月の子牛の出荷頭数は前年を上回ったものの、価格はほぼ前年並みだった。4月の**肉用牛**（和牛）の枝肉価格は去勢A4はほぼ前年並み、A3は11か月連続で前年を上回った。4月の枝肉生産量は前年を上回った。

5月の豚肉相場は前年を下回った。4月の枝肉生産量は前年を上回った。

5月のブロイラー相場は、もも肉はほぼ前年並み、むね肉は前年を下回った。4月の処理羽数は前年を上回った。

5月の鶏卵相場は前年を上回った。

【消費関連】… やや弱含み

4月の百貨店・スーパー販売は、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品がほぼ前年並みとなり、全体でもほぼ前年並みだった。4月の専門量販店販売額はほぼ前年並みだった。

4月の乗用車新車販売台数は、3か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は3.7%増、小型車が7.8%減となった。5月の軽自動車は2か月連続で前年を上回った。

【観光関連】… 一部で弱含み

5月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、関東、九州、香港からの入り込みや、個人、団体客ともに落ち込んだことなどから、2か月ぶりに前年を下回った。鹿児島地区は台湾からの入り込みが伸びたものの、関東からの入り込みや個人、団体客ともに落ち込み、前年とほぼ横ばいとなった。霧島地区は九州、香港からの入り込みや団体客が落ち込んだことなどにより、5か月連続で前年を下回った。指宿地区は九州、香港からの入り込みや個人、団体客ともに落ち込んだことなどにより、5か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区は団体客が減少し、2か月ぶりに前年を下回った。

5月の主要観光施設入場者数は、前年の大河ドラマの反動減が一部の施設でみられた。

【投資関連】… やや弱含み

5月の公共工事は、件数は前年を上回ったものの、請負金額は前年を下回った。4月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額のいずれも前年を下回った。4月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲のいずれも前年を下回り、全体で36.8%減と3か月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均はほぼ前年並みとなった。

4月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、9か月ぶりに前年を上回った。

【貿易関連】… 輸出額は前年を下回った一方、輸入額は前年を上回った

4月の**輸出額**はゴムタイヤおよびチューブが前年を上回ったものの、パルプおよび古紙、食料品および動物が前年を下回り、全体で前年同月比10.1%減と5か月連続で前年を下回った。**輸入額**は、原油および粗油、穀物および同調製品が前年を上回り、全体で前年同月比22.3%増と2か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】… 堅調

4月の有効求人倍率は前月を0.03ポイント上回る1.37倍となった。

【金融情勢】… 貸出金残高は前年を上回った

4月の県内金融機関の**貸出金残高**は前年を3.4%上回った。

【企業倒産】… 倒産件数は前年と同数

5月の**企業倒産**（負債額1,000万円以上）は、件数が3件で前年と同数（3件）、負債総額は2億53百万円で前年同月（1億45百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（TEL 099-225-7491）